

登校日（第1週）校長メッセージ

5月13日（水）1年生

- 75期生のみなさん。あらためまして、入学おめでとうございます。
- 5月初めの健康診断以来の登校ですね。みなさんにお話ができることを嬉しく思います。
- さて、テレビを観れば、新型コロナウイルスの話ばかりです。ネットニュースや新聞もそうです。
- これによく似たことが起きたのは2009年の新型インフルエンザです。
- みんなはまだ小さかったのでよく覚えていないかもしれませんが、社会全体がとても神経質になっていた感じでした。
- 今から思えば、その原因は「不安」です。漠然とした「不安」です。
- 「不安」を感じるセンサーは一人ひとり違うので、敏感に反応する人もいれば、そうでない人もいます。
- どちらが良いという話ではなく、この差が、偏見や差別を生み出すことになります。
- 科学的根拠に基づいた、冷静な言動を心掛けることが大切です。
- 得体のしれないものを感じた時、人は「不安」になります。
- 新型コロナウイルスは目に見えません。
- 音もなく近づいて、自分や自分の大切な人を苦しめます。
- 今は特效薬もワクチン也没有せん。
- 時として、人を死に至らしめる感染症です。
- だから、今、世界中が「不安」に包まれているのです。
- こういった状態の時に大事なことは「おもいやり」です。頭ではわかっているがなかなか難しい話です。
- 命を救うために昼夜の区別なくウイルスと闘ってくれている人たちがいます。
- 「おもいやり」とは、相手の立場に立って物事を考えるチカラです。
- 1人でも多くの命を救うために、自分の身を危険にさらしてでも頑張っている医療従事者の皆さんが、今の自分を見たらどう思うだろうと考える想像力が「おもいやり」の種です。
- 医療従事者のみなさんと同じ気持ちで、今、自分ができることをしっかりやってください。
- 具体的に言うと、不必要に出歩かない事や3密を作らない事、手を洗うことやマスクをする事などです。
- 一方で、長い期間、経済活動を停めてしまえば、そのことによって様々な問題が起こります。
- 世帯収入の急激な減少により、すでに高校生の生活にも大きな影響が出ていると思います。
- 経済的な問題によって、生活することが困難になることも防がなければいけません。
- 今はちょうど、そのバランスをとるべき時期に差し掛かっているのかもしれません。
- 学校休業も長引けば、いろんな問題が出てきます。
- 様々な事情で自宅に居づらい人もいるでしょう。
- 友達をはじめ、人との交流が極端に少なくなっていることで、鬱鬱とした気持ちになってしまっている人

も少なくないと思います。

- 今回、臨時休業中にも拘らず登校日を設けた目的は「生徒のみなさんの心身の健康状態の確認」です。
- メンタル面も含めて、しんどいことがあったら、遠慮なく、先生に伝えてください。
- 力になります。
- もし、今日、言えなかったり、言う機会がなかった場合、電話でも構いませんので「不安」や「ストレス」を自分の胸の中に閉じ込めることのないようにしてください。

- 登校日は今日から始まります。
- 1年生の登校日を最初の日にしたのは、少しでも早く八尾高生になってほしかったからです。
- 入学式もできないまま高校生になり、どんなクラスメイトがいるかもわからず、Stay Home を続けるのは、本当に辛かったと思います。
- 今日は、1クラスを3分割した形ですが、はじめてクラスメイトに会う日です。
- 担任の話を聴くのも今日が最初です。
- やったここまでたどり着きました。
- 今日は、短い時間ですが、自分が八尾高生であることを全身で感じる1日にしてください。

- 新型コロナウイルスについては、国の方針があって、大阪府の方針があって、その上で学校が具体的な対応をすることになります。
- いまだかつて経験したことのない困難な局面ですが、私は校長として、みんなの思いを受け止めた上で判断していきたいと思っています。
- 最初は、まず生徒のみなさんや教職員の健康、次に、授業など日々の学校教育活動の再開、そして、部活動や学校行事・・・様子を見ながら徐々にですが、着実に進めていきます。

- 八尾高校に入学したら、クラブを思いっきりしたいと思っていた人が多いと思います。
- もう少し待ってください。
- 部活動ができるようになったら、しっかり頑張ってもらえるよう、体制は整えています。

- 今はまさに緊急事態ですので、みんなには何かと不便な思いをさせたり、時にはみんなの気持ちに思いが至らないことがあるかもしれません。
- そんな時は遠慮せずに言ってください。

- 学校は「学年ブログ」や「緊急連絡ブログ」「校長ブログ」を通じて、できる限りの情報を公開します。
- こんな時だからこそ、しっかり情報をオープンにして、一人ひとりが、一緒にこの難局を乗り切る、八尾高校のメンバーであるという意識を持ってほしいと思います。

- 出口のないトンネルはありません。
- 八尾高校らしく、心を一つにして乗り切りましょう！